

もみ殻の利活用の流れについて



滝川市内全体の
米の作付面積、生産量
2,890ha、13,700t
↓
もみ殻の発生量
約3,000 t



地域農家からその一部を購入して、利活用

①放牧場横の小屋へそのまま敷料として敷設



②薫炭化して羊舎への敷設



自社作業場内での薫炭化



その上からわらを敷きます。



防臭効果や病原菌対策などのほかに、冬期間の保温効果を高めるなど、健康な羊を育てるための環境作りに効果があります。

そのほか、こんな使い道も…

カメムシ対策に



壁際に撒くことにより、酢液とともにカメムシなど害虫の忌避材として利用しています。

いずれも、残さは肥料等として土壌還元